

### 理由

1. 此申請案中如下所列的請求項目裡相關的發明中，於此申請案前在日本本國內或其他國家有該發明記載在下列已公佈的公開文件中，或此發明透過電子通訊線路已被公眾使用，因此，根據專利法第 29 條第 1 項第 3 號規定，不具專利可行性。
2. 此申請案中如下所列的請求項目裡相關的發明中，於此申請案前在日本本國內或其他國家有該發明記載在下列已公佈的公開文件中，或基於此發明透過電子通訊線路已被公眾使用，此申請案前對於其發明所屬的技術領域是有普遍知識的人便容易發明，因此，根據專利法第 29 條第 2 項規定，不具專利可行性。

### 紀錄 (參考相關的引證文件一覽表)

#### 【請求項目 1-3】

- 理由 1、2
- 引證文件：1

[備註]

參考[0009]-[0020]及第 1 圖~第 3 圖

#### 【請求項目 4、6】

- 理由 2
- 引證文件：1、2

[備註]

利用氧化矽之類的材料做絕緣層是眾所皆知的事實(例如、參考引證文件 2)。對於引證文件 1 中絕緣膜 4、第 2 絕緣層 9 是由這些眾所皆知的材料所構成，只是把眾所皆知的技術轉用，判斷為不適合取得技術。

【請求項目 5】

- ・理由 1、2
- ・引證文件：1、2

[備註]

參考引證文件 1，特別是第 1 圖。

3. 該申請案中，記載專利請求範圍如下所示的幾點不符合專利法第 36 條第 6 項第 2 號規定中的資格。

紀錄

・請求項目 7、10 雖然記載「二個相鄰的上下兩極真空管層以不同的導電型面對面設置」、「二個相鄰的上下兩極真空管層以相同的導電型面對面設置」，但是「二個相鄰的上下兩極真空管層」並沒有明確說明是哪個層及哪個層，而且「面對面設置」也沒有明確說明如何設置。

・請求項目 12、請求項目 16 雖然記載「上述誘電層、上述第一絕緣體、上述第二導電層及上述第三導電層到位元線為止行成溝槽」、「．．．上述第一位元線為止行成溝槽」、「．．．上述第二位元線為止行成溝槽」但並沒有明確說明上述位元線是否行成溝槽。(實施例中，上述位元線行成溝槽，須注意其上方到第二導電層為止行成溝槽)

因此，請求項目 7、10、12、16 及引用這些文字的請求項目 8、9、11、13~15、17~19 的相關發明均不明確。

引證文件一覽表

1. 日本公開公報 06-334139
2. 日本公開公報 02-021651

先前技術文獻調查紀錄結果

- |         |                  |
|---------|------------------|
| ・調查領域   | IPC H01L27/10    |
| ・先前技術文獻 | 日本公開公報 04-042570 |
|         | 日本公開公報 02-090673 |
|         | 日本公開公報 01-189958 |

此先前技術文獻調查紀錄結果不構成拒絕受理之理由

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 2 9 1 1 6 8
起案日	平成 1 8 年 8 月 2 日
特許庁審査官	栗野 正明 9 3 5 3 4 M 0 0
特許出願人代理人	前田 均 (外 3 名) 様
適用条文	第 2 9 条第 1 項、第 2 9 条第 2 項、第 3 6 条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 3 か月以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の記事に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第 2 9 条第 1 項第 3 号に該当し、特許を受けることができない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の記事に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

## 【請求項 1 ～ 3】

・理由 1、2

・引用文献等：1

【備考】

【0 0 0 9】～【0 0 2 0】及び図 1～図 3 を参照のこと。

## 【請求項 4、6】

・理由 2

・引用文献等：1、2

【備考】

層間絶縁膜として酸化ケイ素等の材料を用いることは、周知であり（例えば、引用文献等 2 を参照）、引用文献等 1 の発明における絶縁膜 4、第 2 の層間絶縁膜 9 をこれら周知の材料から構成することは、周知技術の単なる転用であって、

当業者が適宜なし得ることと認められる。

【請求項 5】

- ・理由 1、2
- ・引用文献等：1、2

【備考】

引用文献等 1 の特に図 1 を参照のこと。

3. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第 3 6 条第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

記

・請求項 7、1 0 には、「二つの近接する上下ダイオード層は、異なる導電型で向かいあって設置されている」、「二つの近接する上下ダイオード層は、同じ導電型で向かい合って設置されている」との記載があるが、「二つの近接する上下ダイオード層」とは、どの層とどの層を意味するのか不明確であるのに加えて、「向かい合って設置」とはどのように設置されていることを意味するのかも不明確である。

・請求項 1 2、請求項 1 6 には、「前記誘電層、前記第一絶縁物、前記第三導電層、前記第二導電層を、ビットラインまでパターン化し」、「・・・前記第一ビットラインまでパターン化し」、「・・・前記第二ビットラインまでパターン化し」との記載があるが、上記ビットラインがパターン化されるのか否かが不明確である。（実施例では、上記ビットラインはパターン化されず、その直上の第二導電層までをパターン化していることに留意されたい。）

よって、請求項 7、1 0、1 2、1 6 及びこれらを引用する請求項 8、9、1 1、1 3～1 5、1 7～1 9 に係る発明は明確でない。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平 0 6－3 3 4 1 3 9 号公報
2. 特開平 0 2－0 2 1 6 5 1 号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C H 0 1 L 2 7 / 1 0
- ・先行技術文献 特開平 0 4－0 4 2 5 7 0 号公報  
 特開平 0 2－0 9 0 6 7 3 号公報  
 特開平 0 1－1 8 9 9 5 8 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。